

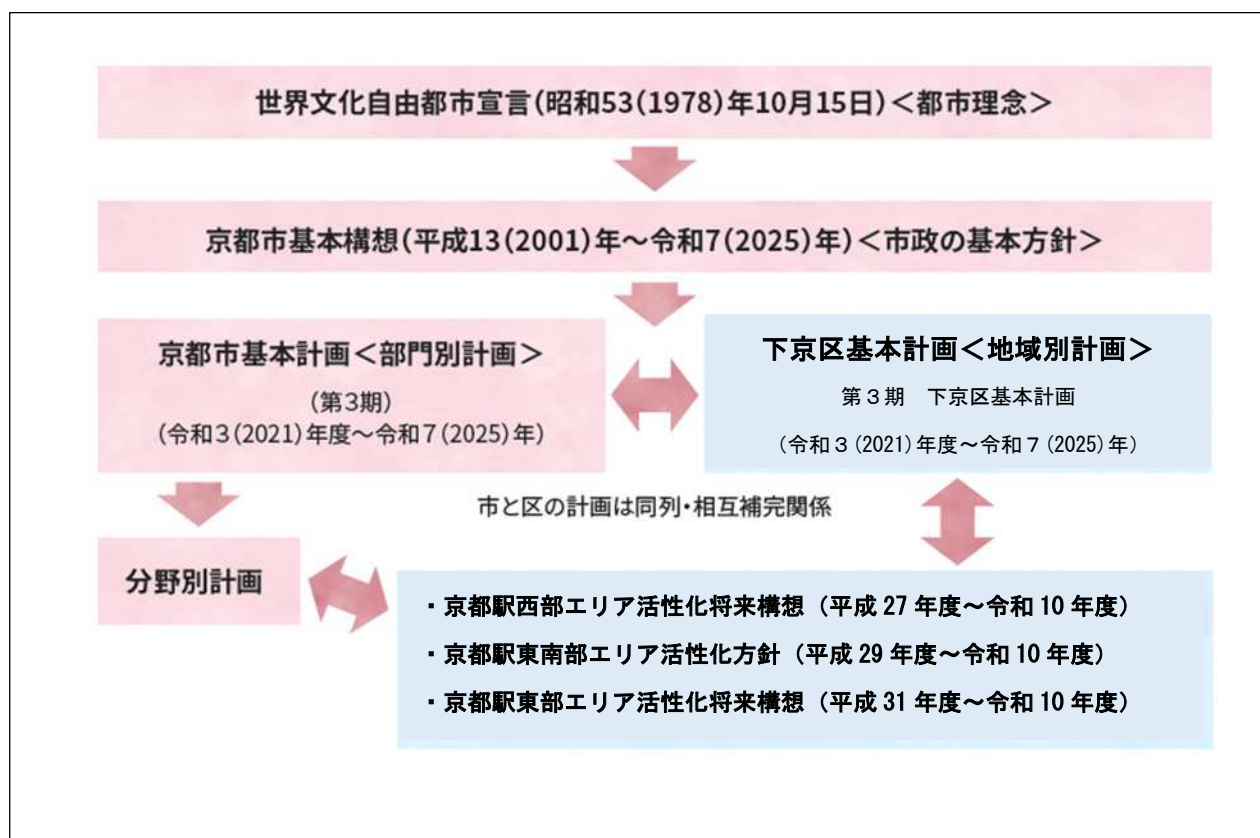
第3期下京区基本計画 5年間の総括について

はじめに

1 計画の位置付け

地域活動の担い手の高齢化や少子化の進行、災害の頻発など、地域を取り巻く課題への対応や、第2期下京区基本計画で取り組んだ成果や区民、団体、事業者等の絆を生かし、下京区制150周年、100年先の未来に向けて、下京区のまち全体の活性化につながる取組を一層推進するため、下京区民まちづくり会議等での議論を踏まえ、令和3年度に策定。

第3期下京区基本計画は、京都市政の基本方針である「京都市基本構想」に基づく地域別計画であり、全市的観点から取り組む主要な施策を示す「京都市基本計画」と同列・相互補完の関係となっている。



2 計画期間

令和3（2021）年度～令和7（2025）年の5年間

3 スローガン

「住んでよし、働いてよし、訪れてよし、学んでよし」の下京区

4 重点戦略

「京都市基本計画」に基づき、レジリエンス、SDGs、文化力、ポストコロナをよこ軸に、6つの重点戦略を設定。さらに、各戦略において重点的・先導的に進める取組として14の「リーディングプロジェクト」を設定し、区役所と区民、事業者、団体等の協働での推進を目指した。



戦略1 人口減少に立ち向かう地域コミュニティづくり

★リーディングプロジェクト ◎推進施策	実績
<p>★地域の事業者や外部（NPO、大学等）の方が町内会活動に参加しやすいしくみづくり</p> <p>◎まちづくりを担う人づくり</p>	<p>○ 区独自 HP 等による情報発信</p> <p>令和3年11月に「下京地域情報サイト」を開設し、各学区の情報や地域の魅力、区内でのイベント情報等を発信してきた。</p> <p>令和7年9月から開設した「暮らしたい下京」ではこうした情報に加え、下京区への移住を検討する方にも役立つ情報の発信を目指した。また、区 SNS（X 及び Facebook）でも、様々な情報を発信している。</p> <div data-bbox="646 728 1353 1176" data-label="Image"> </div> <p>○ スマートフォン体験講座の実施（令和6年度～）（資料3参照）</p> <p>○ 植柳自治連合会の取組（令和7年度「SHIMOGYO+GOOD」採択）（資料3参照）</p> <p>○ 学区と事業者等の連携による取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 醒泉学区と京都デザイン&テクノロジー専門学校（令和7年度）（資料3参照） ・ 有隣学区と明治安田生命保険相互会社京都支社（令和7年度）（資料3参照） ・ 修徳学区と明治安田生命保険相互会社京都支社（令和7年度）（資料3参照）
<p>★学区における「まちづくり委員会」の設立・活動支援</p> <p>◎持続可能な地域コミュニティづくり</p>	<p>○ 有隣学区まちづくり委員会の取組</p> <p>令和3年度以降、「有隣学区らしい避難所運営マニュアル」の作成に着手し、令和6年度末に「避難所運営マニュアル（案）」が完成。学区民の誰もが安心して避難生活を送ることができる「みんなの避難所」の仕組みや運営体制づくりを目指したワークショップ等を行い、学区全体の防災意識向上に取り組んだ。</p> <p>（令和3・4年度、5・6年度「SHIMOGYO+GOOD」採択）</p>



○ 醒泉まちづくり委員会の取組

令和5年度に、「醒泉学区防災まちづくり計画」や「避難所運営マニュアル」(改訂版)が完成。令和6年度以降、「避難所運営マニュアル」(改訂版)に基づいた訓練の実施・マニュアルの検証を実施するほか、マンション住民を対象とした減災カフェ等を開催するなど、顔の見える関係性の構築に取り組み、地域の次世代の担い手発掘を目指した。

(令和5・6年度、7年度「SHIMOGYO+GOOD」採択)



○ 菊浜まちづくり推進委員会の取組

令和2年度に策定した「避難所運営マニュアル」に基づく夜間を想定した避難所開設訓練を実施。また、防災・福祉の観点から、まちの現状を把握する目的で地域住民と各団体の長を中心としたまちあるきや、防災・福祉訓練を実施した。

(令和2・3年度、4・5年度「SHIMOGYO+GOOD」採択)



- 松原通界限活性化活動プロジェクト委員会の取組（令和4年度）
誇りある松原通を次世代の子どもたちに引き継ぐために、「祇園祭関連事業」の再開を通じた洛央小学校と連携した「洛央鉦」の巡行や「日和神楽お迎え提灯灯し」を実施。修徳児童館と連携して、児童が企画する「街歩き事業」を開催。
（令和4年度「SHIMOGYO+GOOD」採択）



- 崇仁まちづくり推進委員会の取組
崇仁祭り囃子を中心とした取組や、地域住民が文化・芸術に親しむ機会の創出を、京都市立芸術大学生等と連携し実施した。
（令和2・4年度、5・6年度「SHIMOGYO+GOOD」採択）



- 西七繁栄会の取組
「七条えんま堂」を中心に、商店街活性化、地域の賑わいづくりを目的に、商店街、団体、大学、企業等が連携し「七条えんま堂まつり」を開催。京都市立芸術大学生が講師となった「お絵描き教室」等も実施するなど、文化・芸術を通して地域の魅力を発信した。
（令和3・4年度、5・6年度「SHIMOGYO+GOOD」採択）



○ 成徳自治連合会の取組

「安心・安全 絆の町 成徳」をスローガンに、「アイビーフェスタ成徳（成徳区民つどいの日）」を令和5年度に4年振りに開催。令和6年度及び7年度も開催。交流の場から、顔が見える関係づくり、地域の防犯機能・文化力・自治会加入率向上に取り組んだ。

（令和5・6年度「SHIMOGYO+GOOD」採択）



○ 格致花と緑の回廊づくり推進委員会の取組

（令和7年度「SHIMOGYO+GOOD」採択）（資料3参照）

○ 格致ファミリークラブ（下京少年補導委員会 格致支部）の取組

（令和7年度「SHIMOGYO+GOOD」採択）（資料3参照）

★まちづくりサポート事業「SHIMOGYO+GOOD」による社会・地域課題解決の推進

◎社会・地域課題を解決するしくみづくり

○ 「SHIMOGYO+GOOD」による支援

地元団体の皆様だけでなく、学生・若手社会人や事業者による、まちの活性化や地域課題の解決を目指す幅広い取組を支援。

【採択件数】

（令和3年度） 23件

（令和4年度） 一般枠12件、地域まちづくり特別枠12件

（令和5年度） 一般枠13件、地域まちづくり特別枠9件

（令和6年度） 一般枠15件、地域まちづくり特別枠4件



（令和7年度） 一般枠20件、地域まちづくり特別枠6件



○ 祭りプロジェクト（令和6・7年度）（資料3参照）

	<p>○ 京都中小企業家同友会下京三支部との連携</p> <p>地域課題の解決及び地域活性化による下京区の持続可能なまちづくりの推進を図ることを目的に、令和3年3月に地域連携に関する協定を締結。「グッジョブ！キッズフェスタ in 下京」での連携や、区及び同友会から報告・情報提供等を行う意見交換会を定期的を実施。</p>
--	--

戦略2 はぐくみ文化の創造・推進

★リーディングプロジェクト ◎推進施策	実績										
<p>★団体、企業等との連携により地域ぐるみで子育てを支援する「下京みらい数珠つなぎプロジェクト」の推進</p> <p>◎子どもと家庭をオール下京（区民、事業者、行政等）で育む環境づくり</p>	<p>○ 妊娠期からの子育て支援の充実</p> <p>子育て家庭の孤立化や児童虐待防止のため、妊娠期から子育て期に渡る切れ目ない支援や、地域における子育て支援ネットワークの強化を進めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プレママ・パパ教室の内容充実やマタニティウェア・ベビー服リユース会の実施 ・ 下京赤ちゃんねっと事業の実施 ・ 子育て世代を応援するための情報発信 ・ 地域における支援機関等の連携強化 <p>○ 地域コミュニティアプリ「ピアッザ」を活用したリアルイベントの実施（令和2年度～6年度）</p> <p>「ピアッザ」内のコミュニティをリアルの場に広げることを目的に、リアルイベントを計8回開催。子ども服・本のお譲り会だけでなく、京都市立芸術大学生によるワークショップや、子育てについて意見交換を行う座談会等を実施する回もあるなど、子育て世代のコミュニティづくりを進めてきた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>○ まちなかでのスポーツを通じた子育て支援（令和7年度）（資料3参照）</p>										
<p>★企業・職人等との連携による子ども・若者を対象とした職業体験や歴史講座等の実施</p> <p>◎子ども・若者がさまざまな機会を与えられ、主体的に学び、育つ環境づくり</p>	<p>○ グッジョブ！キッズフェスタ in 下京（令和3年度～）</p> <table border="0"> <tr> <td>（令和3年度）</td> <td>体験メニュー11種類、参加者約210名</td> </tr> <tr> <td>（令和4年度）</td> <td>体験メニュー10種類、参加者約220名</td> </tr> <tr> <td>（令和5年度）</td> <td>体験メニュー7種類、参加者約200名</td> </tr> <tr> <td>（令和6年度）</td> <td>体験メニュー7種類、参加者約130名</td> </tr> <tr> <td>（令和7年度）</td> <td>体験メニュー8種類、参加者約110名</td> </tr> </table> <p>（資料3参照）</p>	（令和3年度）	体験メニュー11種類、参加者約210名	（令和4年度）	体験メニュー10種類、参加者約220名	（令和5年度）	体験メニュー7種類、参加者約200名	（令和6年度）	体験メニュー7種類、参加者約130名	（令和7年度）	体験メニュー8種類、参加者約110名
（令和3年度）	体験メニュー11種類、参加者約210名										
（令和4年度）	体験メニュー10種類、参加者約220名										
（令和5年度）	体験メニュー7種類、参加者約200名										
（令和6年度）	体験メニュー7種類、参加者約130名										
（令和7年度）	体験メニュー8種類、参加者約110名										

	
<p>◎特に支援が必要な子ども・若者・家庭等への切れ目のない支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童館やつどいの広場、子育てサロンによる様々な取組（資料3参照） ○ 子ども食堂 DAY の開催（令和7年度）（資料3参照）
<p>◎働くことと子どもを産み育てることを両立できる社会づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ (株)ウエダ本社の取組（令和4年度） 子育て世代の女性や企業の広報担当者を対象に広報力スキルアップ講座を開催。また、参加企業や「SHIMOGYO+GOOD」採択事業者へのインタビュー記事を掲載する広報誌を発行。「子育て」と「働く」のバランスのとれた多様な働き方を広げ、企業・団体と連携した「はたらく」の提供を目指した。 （令和4年度「SHIMOGYO+GOOD」採択） 

戦略3 誰もがいきいきとくらせるまちづくり



★リーディングプロジェクト ◎推進施策	実績
<p>★「ひきこもりを考える講演会」や「家族交流会」等の開催及び個別支援の充実</p> <p>◎異文化や多様な生き方を認め合い、誰一人取り残さない支え合いのまちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 下京区ひきこもりを考える講演会の開催（令和2年度～4年度） （令和2年度） 「ひきこもり」について大学教授からの講演 （令和3年度） 「ひきこもり支援」について精神科医と支援者からの講演 （令和4年度） ひきこもり当事者の思いを知る座談会 ○ 「人権月間事業」の実施 （令和3年度） 「ネット上での誹謗中傷の恐ろしさ等」をテーマとした講演会 （令和4年度） 「薬物の危険性や再出発等」をテーマとした講演会 （令和5年度） 「全ての人が輝くまちづくり」をテーマとした映画「共に生きる 書家 金澤翔子」上映及びトークセッション （令和6年度） 「性の多様性」をテーマとしたコントラバス・ピアノ演奏会及びトークショー （令和7年度） 「共生社会の実現」をテーマとした映画「新居浜ひかり物語 青いライオン」上映及び講演会（資料3参照） ○ 下京こころのふれあいネットワークの取組（資料3参照） ○ 下京区社会福祉協議会の取組（資料3参照） ○ みんなが気持ちよく暮らすための下京区生活ガイド（仮）（多言語チラシ）の作成（令和7年度）（資料3参照）
<p>★「フレイルと生活習慣病の予防」による「健康長寿のまち・下京」の推進</p> <p>◎人生100年時代を見据えた健康で心豊かに過ごせ、活躍できるまちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 梅逕自治連合会「梅の花カフェプロジェクト」の取組（令和4年度～） 元梅逕中学校舎内に、「梅の花カフェ」を開設。地域の高齢者が集い、体操や趣味の催し等で交流。また、学区内のタキイ種苗(株)の協力を得た講座も開催。地域住民のフレイル対策の場を作るとともに、住民同士の交流活性化も進んだ。 （令和4・5年度「SHIMOGYO+GOOD」採択） <div data-bbox="812 1742 1179 2002" style="text-align: center;"> </div>

- 下京区民ニュースポーツ大会の開催（令和6年度）
12チーム（約40名）が参加した区内初のモルック大会を令和6年11月に開催。同日、ボッチャ体験会も開催。



- 健康まつり（下京区・南区合同実施）の開催（資料3参照）
- 地域における健康づくり事業の実施（資料3参照）
他機関との協働による、心身のフレイル予防や生活習慣病予防等の健康づくりに関するセミナーを実施。

戦略4 環境と調和したくらしが根付く持続可能なまちづくり

★リーディングプロジェクト ◎推進施策	実績
<p>★区内企業によるソーシャルプロダクツの発信支援、区民への利用推奨</p> <p>◎区民によるソーシャルプロダクツの利用促進をはじめソーシャルビジネスの普及</p>	<p>○ 特定非営利活動法人使い捨て時代を考える会の取組（令和5・6年度） 「修理＝リペア」を身近にする「リペアカフェ」、不用品を他の方に譲る「くるくる交換会」、「環境に関する内容の紙芝居の実演」等を開催し、子どもから大人まで「SDGsに配慮する」、「使い捨てない」、「環境を壊さない」ことに関心を持ってもらうことで、SDGsの実現を目指した。 （令和5・6年度「SHIMOGYO+GOOD」採択）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>○ <small>おちこちや</small> 彼方此方屋の取組 廃棄衣料から作られた園芸用土「エターナルソイル」を使い、まち中の屋上等で綿花を栽培し、採集した綿花から糸を紡ぎ布を仕上げる「京木綿プロジェクト」（令和3・4年度「SHIMOGYO+GOOD」採択事業）。令和5年8月に6年がかりで手掛けてきた木綿布が完成し、涉成園でお披露目式が開催され、木綿布で作られた着物が展示された。令和6年9月には「咲心（えこ）」シリーズとして商品化された。</p> <p>○ （株）堤浅吉漆店の取組 京北産木材を使った使い続けることができるストロー「漆塗り木製ストロー“/suw”」を製作し、持続可能なものづくりの実現と漆文化の継承に取り組んだ。また、「モノを大切に長く使って欲しい」というメッセージとともに製作過程を映像化したコンセプトムービーを製作し、商品流通に活かすとともに森歩きツアーを実施（令和2年度「SHIMOGYO+GOOD」採択事業）。漆塗り木製ストローは、製品化・販売につながった。</p>
<p>★地産地消や自然・生物との共生の大切さ、地球</p>	<p>○ 高瀬川ききみる会の取組（令和4・5年度） 高瀬川やその周辺地域の変遷・歴史の痕跡について知り、</p>

温暖化対策、ごみ減量等について学ぶ機会の創出、環境保全活動の担い手づくり

◎SDGs の理念を生かした地域レベルでの活動促進

高瀬川の歴史的意義や地域との関係への理解を深める機会とする「高瀬川いまむかし写真展」の開催や「高瀬川タイムトリップかわらばん」を発行。活動を通して、地域の環境変化や歴史の理解を深めるとともに、幅広い世代の交流を深めた。
(令和4・5年度「SHIMOGYO+GOOD」採択)



○ 高瀬川モニタリング部の取組 (令和4年度～)

高瀬川に集まる「いきもの」たちにフォーカスをあて、多様な視点でのフィールドワーク等を行う。令和5年度には、下京・南まちなかアートでの関連ワークショップとして、「高瀬川モニタリングと座談会」を開催。五条～崇仁の川沿いの観察・散策等を行った。

○ (株)夢びとの取組

コンポストの回収拠点を区内に設置し、生ごみの堆肥化による生ごみ・CO2 排出量の削減を目指し、堆肥回収イベントや子ども向けの「循環を学び体験する授業」、企業向けの「循環企業研修」等を実施 (令和3・4年度「SHIMOGYO+GOOD」採択事業)。さらに、生ごみの堆肥化にチャレンジする人に還元される「地域通貨京都祭コイン「como」」を開始した。

◎徹底した省エネやごみ減量、脱炭素社会に向けた取組の推進や門掃き、打ち水など、京のまちに息づく生活習慣の継続

○ 南部まち美化事務所の取組 (令和5・6年度)

「ピアZZ」交流イベント内の「子ども用品お譲り会」に、令和5年度に初めて、子ども服やおもちゃを提供。



	<p>○ 地域における清掃活動</p> <ul style="list-style-type: none">・ 京都駅周辺を美しくする会・ 梅小路京都西・七条通賑わいづくり協議会・ 京都・梅小路みんながつながるプロジェクト・ 京都中小企業家同友会 下京地域会 など
--	---

戦略5 危機にしなやかに対応し「いのちと暮らし」を守るまちづくり

★リーディングプロジェクト ◎推進施策	実績
<p>★工夫を凝らした防災啓発の推進（楽しみながら学べる防災訓練プログラム（体験型防災ゲーム）、防災・福祉まち歩き会、減災カフェ、避難所運営ゲームなど）</p> <p>◎レジリエントな地域づくりに向けたオール下京（区民、事業者、行政等）で取り組む地域防災力の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 有隣学区まちづくり委員会の取組（再掲） ○ 醒泉まちづくり委員会の取組（再掲） ○ 菊浜まちづくり推進委員会の取組（再掲） ○ 光徳自治連合会の取組（資料3参照） ○ ICTを活用した取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ 有隣学区スマホ版防災マップ 避難所の場所や地域の集合場所、消火器の位置などをスマートフォンで確認できるもの。 ・ 醒泉学区避難報告シート 各町内に設置されている「地域の集合場所」プレートに、避難報告シートの二次元コードを掲載。大規模災害発生時に、スマートフォンなどから避難状況をフォーム入力することで、指定避難所本部がデータで把握できるもの。 ○ 地域と宿泊施設との連携強化 大規模災害発生時に福祉避難所が開設されるまでの間、学区の要配慮者（高齢者や障害のある方、妊産婦の方等）が一時的に避難できる場所を宿泊施設事業者に提供していただく取り組みである、「大規模自然災害発生時における施設利用等の協力に関する協定」を、菊浜学区（令和2・5年度）、大内学区※（令和4年度）、醒泉学区（令和4年度）、有隣学区（令和6年度）で締結。 醒泉学区及び有隣学区においては、令和7年度の学区防災訓練等に、防災連携協定を締結する宿泊施設事業者が参加。 ※ 区が宿泊施設事業者と協定を締結。
<p>★空き家・空き店舗の有効活用（地域の居場所、オフィス、芸術拠点など）による空き家対策の推進</p> <p>◎下京にくらす人、働く</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 下京ローカルグッド※による取組（令和5・6年度） 「空き家プロジェクト」を立ち上げ、空き家・町家を活かした3世代交流の機会づくりに取り組み、令和6年2月にカフェギャラリーときじくにおいて昔遊び（おはじき、けん玉等）を体験するイベントを実施。子どもとその親、高齢者が参加した。子どもが高齢者に遊び方を教えてもらうなど、「3

人、訪れる人、学ぶ人
誰もが安心・安全にくら
せるまちづくりの推進

世代交流の創出」につながった。



※ 第3期下京区基本計画の推進を強化することを目的に、
学生・若手社会人が、まちの人に出会い、まちの人の想い
に触れて、課題解決に向けたアクションプランを企画・提
案する取組。

○ ナナメディアプロジェクトの取組（令和6年度～。令和7
年度「SHIMOGYO+GOOD」採択）

令和6年度に発足した、七条通沿いの商店街の魅力ワカ
モノ独自の“ナナメ”からの視点で発信するプロジェクト。
メンバーは、京都市立芸術大学等の学生や若手社会人で、七
条中央サービス会至近の空き家に拠点を構え活動。令和6年
度は、京都市立芸術大学生による商店街の魅力を伝えるフリー
ペーパー「ナナメディア」の制作・発行や、空き家を活用
したイベント（商店街と連携したお店のPOP作りワークショ
ップ等）を実施。多様な年代の方々と賑わう商店街になるこ
とを目指し、メンバーが独自の切り口で挑戦している。



○ 防犯漫画・動画を活用した啓発（令和3・4年度）

令和2年度に、漫画や動画を通じて、区民に防犯について
学んでもらい、防犯意識を高めてもらうことを目的に、京都
市立芸術大学漫芯創意部（漫画研究部）の学生の協力のもと
4コマ漫画を7種類、防犯を呼びかける動画を作成。

令和3・4年度に、市民しぶん下京区版への掲載や市公

式 YouTube での動画公開、防犯啓発小冊子の製作・配布を通して、周知を行った。



戦略6 京都の元気をけん引するまちづくり

<p>★リーディングプロジェクト ◎推進施策</p>	<p>実績</p>
<p>★下京区の東西エリアが交流・融合する「クリエイティブエリア」の創出 ◎世界に羽ばたく起業家を支援する「スタートアップの聖地・下京」の推進</p>	<p>○ 梅小路京都西駅エリアにおけるクリエイティブタウン化の推進 地域の事業者や起業家を中心とした協議体「梅小路 commons」の事業体となる「(株)梅小路まちづくりラボ」が、クリエイティブタウン化推進拠点となる「Umekoji MARKEt (ウメコウジマーケット)」を令和4年度に開業。多様な企業が入居し、モノづくり、アート、食、社会課題解決などをテーマに、様々な取組を進めている。</p>  <p>○ 創業・イノベーション拠点（淳風 bizQ）（令和2年度～6年度） 旧下京図書館及び元淳風小学校の一部の区画を、スタートアップ企業等を対象にしたオフィス兼交流施設として活用。若者や起業家・クリエイティブな人・企業が集まり、スタートアップや地域企業が交流・連携をすることでイノベーションが生まれ続けるまちを目指し、入居企業による地域交流イベント等を開催した。</p> 
<p>★伝統産業職人と芸術系大学生の連携・コラボレーション ◎京都芸大移転を生かした芸術活動と地域・生</p>	<p>○ 商店街と京都市立美術工芸高校の取組（令和5年度） デザイン専攻2年生の授業の一環として、生徒が七条商店街（烏丸通～堀川通）を歩き、気になった店舗と対話を重ねながら、パッケージや包装紙等のデザインを製作。9店舗に御協力いただいた。</p>

活文化の融合



- 下京まちなかアート（令和2年度～）（資料3参照）
「ふれ愛ひろば」の代替事業として、令和2年度から開催（令和4年度～6年度は南まちなかアートと同時開催）。令和5年度以降は、京都市立美術工芸高校及び京都市立芸術大学と連携し、内容を発展・充実させながら実施している。
- 京都市立芸術大学アンテナショップ「ノキサキ」（令和5年度～）
在校生や卒業生が日常でも使いやすい作品等を、七条商店街の松屋製菓の店内の一部をお借りし販売するアンテナショップを令和5年10月から令和6年7月まで実施。令和7年2月に京つけもの西利本店に移転した。



- 京の伝統文化体験フェスタ in 下京（令和5年度）
京都が誇る「伝統文化」を体験しながら、その歴史や魅力についても知ることができるイベント。体験メニューは「茶の湯体験」や「いけばな体験」など5種類で、約160名が参加。



- 崇仁まちづくり推進委員会の取組
（令和7年度「SHIMOGYO+GOOD」採択）（資料3参照）

★地域の多彩な歴史的・文化資源の掘り起こしと魅力発信、マイクロツーリズムの推進

◎地域と調和した京都駅、梅小路周辺のさらなるにぎわい創出と回遊性向上

○ 松原通境界活性化活動プロジェクト委員会の取組（令和3年度）
地域の伝統職人と連携した「オンライン職人巡りツアー」や、洛央小学校と連携した「オンライン松原街歩きツアー」を実施。松原通を含む洛央小学校区の多くの人々に対し、松原通の魅力発信した。

（令和3年度「SHIMOGYO+GOOD」採択）



○ お東さん広場（東本願寺前市民緑地）の供用開始

京都駅周辺地域の活性化と京都駅から東本願寺界隈への回遊性の向上を目指し、東本願寺所有の緑地と市道を一体的に本市初の市民緑地として整備し、令和5年3月に供用開始。

令和2年度から4年度にかけて、地元学区や周辺商店街、事業者等からなる関係者会議等を開催し、利用ルールづくりや運営体制の検討、愛称募集・選定、整備の進捗状況などの情報共有等を行ってきた。

供用開始後も、お東さん広場を会場としたイベント開催等の情報共有及び利活用に関する意見聴取の場として、関係者が集い「意見交換会」を実施している。



- 梅小路京都西・七条通賑わいづくり協議会の取組
 JR 梅小路京都西駅・七条通の賑わいづくりや京都の食文化の魅力向上を目的に活動。毎月第3木曜日の同エリアでの清掃活動や、梅小路エリアにある中央市場やホテルと連携した「デジタルマップ」の作成、地域全体の活性化を狙うイベントを企画・実施した。
 令和7年12月には、「Umekoji Xmas Candle 2025」をホテルエミオン京都周辺にて開催（資料3参照）
- 京都・梅小路トリビアさんぽ（令和4・5年度）
 京都・梅小路みんながつながるプロジェクトにおいて、京都駅西部エリアの魅力を発掘するために、まちの情報をみんなで持ち寄り、まちの魅力を「再発見」しようとするプロジェクト「京都・梅小路トリビアさんぽ」を実施。
 令和4年度に「語り伝えたいまちの歴史」や「ちょっと自慢したくなるまちのお話」等のトリビアを募集し、令和5年度にトリビアを掲出した看板を設置。まち歩きの魅力向上やエリア内の回遊性向上を目指した。



◎地域コミュニティの核となる持続可能な商店街づくり

- 七条商店街振興組合の取組
 「お東さん広場」にて、自然との一体感を味わうアウトドア・アクティビティ「七条商店街ツリークライミング」を開催。魅力ある商店街・地域の賑わいを発信するとともに、参加された子どもたちに、自然を大切にする気持ちの大切さを伝えることを目指した。
 （令和5・6年度「SHIMOGYO+GOOD」採択）



○ 嶋原商店街振興組合の取組

商店街の認知度向上や周辺住民のコミュニケーション促進、地域活動や町内活動への参加意識向上等を目的に、「島原へ酔っつかナイト」を開催した。

(令和5年度「SHIMOGYO+GOOD」採択)



○ 下京ローカルグッドによる取組 (令和4年度～6年度)

七条通沿いの商店街の活性化を通じて、JR 梅小路京都西駅以西エリアに人の流れをつくり、地域活性化を目指すためのアクションプランを令和4年度に検討。「IVASHO 店街プロジェクト」と題し、七条中央サービス会と連携し、商店街で食材を購入して弁当に詰めるランチングエコノミー (ランチ+シェアリングエコノミー) を実施した。

令和5年度には、下京区で活動する若者が商店街でやりたいことを表現するイベント「フムフム商店街」を開催。商店街のシャッター前スペースで、「モバイル屋台」を用いた京都市立芸術大学生によるワークショップ等を実施した。



○ ナナメディアプロジェクトの取組 (再掲) (資料3参照)

おわりに

「第3期下京区基本計画」は、令和7年12月末をもって計画期間を満了したが、全ての「リーディングプロジェクト」及び「推進施策」に該当する取組を、計画期間である5年間で実施することができた。これは、地域の皆様の「自分たちの住むまちを良くしたい」というお気持ちやそれを行動に移す実行力によるものに加え、地域の皆様の温かい御理解もあり、学生・若手社会人やNPO、事業者の方々に、様々な取組にチャレンジいただいた結果によるものである。

こうした成果を活かしつつ、地域の皆様による活動だけでなく、多様な方々が地域の活性化やまちづくりにチャレンジできる土壌を今後も大切にして、引き続き『「住んでよし、働いてよし、訪れてよし、学んでよし」の下京区』を目指して、「第3期下京区基本計画」の後継に当たる「下京区まちづくり運営方針」を策定する。